

「東お多福山ススキ草原復元」活動報告

森脇肇子

期日：2017年5月24日（水）9:00～15:00

作業項目：①全面刈り 特別保護区内（芦屋市域）の眺望点周辺およびワレモコウ育成地のササの全面刈りをする。

：②ススキの運搬 晩秋に収穫した茅を土樋割峠まで運搬する。

：③植生調査 調査区 2-6 の植物調査を実施する。

参加者：斧田一陽、田島聖子、森脇肇子

参加者約40名が3グループに分かれ、①②③の作業を行った。JACのメンバーは①の作業に参加した。刈り取り機が刈りやすいように、草原性植物の新芽の周りを鎌で手刈りした後、背丈までであるササを刈り取り機で刈り取った残骸を集めては、集積場まで何度も運んだ。作業後は今まで見えなかった奥池が見渡せるまでになった。天気は雨の予報であったが、作業中は朝からの雨も上がり、比較的涼しく気持ちのいい気候の中での作業であった。作業後、土樋割峠まで下山後、雨が降り始めた。天にも見守られていたようで、今回も良い達成感を味わった。



新芽の周りを丁寧に手刈りする



刈り取り機で刈り取った後の残骸をシートに載せて集積場まで何度も運ぶ



ヤブウツギ (東お多福山頂上にて)



笹の花(土樋割峠登山道)



ウツギ(眺望点付近)



東お多福山のバッジが出来ました(注記)



本日の参加者：森脇 斧田 田島

注記:バッジについて

- 大、小ともに ¥150-にてお分けいたします
- 売上金は東お多福山保全活動に役立てられます
- ご希望の方は森脇までお知らせ下さい